

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(☐koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇 岩崎 聰之介 選

卓袱台に肘つく居眠りくせになりけふもぐつつすりよ 麦茶こぼさず 菊地せつ子
わが家の棧敷席にて秋場所のテレビ観戦すべー ルなども出て 星 明
父の日は母を思ふ日はやく逝かれ我ら七人育て られましき 齋藤 巖
病室に來たる夫が「ア、立ってる」一言ありが たしりハビりに励まん 阿部かつみ
ねんごろに水遣りすれど夏バテかプランターの 花なべて萎るも 末吉アツ子
里芋の葉に溜まりたる旨き水口に含みて家路を 急ぐ 八巻 渡
誰も居らねば義父手づくりの幣束など今も神棚 にそのままならむ 寺崎 悦子
暑きとて草も取らずに日日過ごすわかつて居る が休うごかぬ 佐藤 啓子
初秋告ぐるすずしき風が肌を撫すこのまま暑さ 速のけばうれし 遠藤 舞
空や山みなうつくしき水鏡試しに心を映してみ るか 我妻 孝則

評一首目、老いの居眠りを「卓袱台」に演出、時、くせになる、麦茶へと面白くつなげている。「よ」は詠嘆、ことだなあ、の意。
二首目、草取りのご褒美でもあろうか、一等席に陣取り上機嫌の作者だ。
三首目、一、二句が独特。結句の「られましき」は、尊敬に過去の意を加えたもの。

俳壇 山家 弘子 選

馬追の網戸に縋るうすみどり 高子うぶん
手作りの和紙の灯りの部屋涼し 村上 照夫
葛の花限界集落覆ひゆく 菊地せつ子
十五夜に野菜三白武家屋敷 星 明

柳壇 四竈 英夫 選

記録的雨と気温と物価高 遠藤 松雄
口々に昭和はこんなに暑くない 佐藤 啓子
世は変わり児童生徒はタブレット 菊川いつ子
車検まで疑心暗鬼の昨日今日 末吉アツ子
九十を無事通り越しケーキかな 大庭美智子
語り部が昔々と武家屋敷 星 明
真夏日が長きトンネル開ける窓 村上 照夫
夏バテは食の力を借りて生き 菊地せつ子
楽しみは毎日もぎ取るキュウリかな 遠藤 舞
秋なのにいつまで続くこの暑さ 志村かつい

評一首目、今年の夏は異常な暑さだった。加えて世界の政情不安から物価が高騰した。一日も早い沈静化を祈るばかり。「願い下げ猛暑干ばつ物価高」
二首目、確かに以前はこんな猛暑はなかった。昔を知る人の気持ちに分かる。温暖化を越して沸騰化と言ふ人も、「過熱する青い地球が病んでいる」
三首目、昨今は児童生徒にタブレットが配布される時代に。どこまで進化するのか昭和生まれには想像もつかない。「ドットコムはこの電車と孫に聞き」？



▲激坂に苦戦しながらも、沿道の声援を力に走り抜きました

完走目指して「激坂」を疾走！
第37回しろいし蔵王高原マラソン大会

9月17日、南蔵王野営場を発着点とする「第37回しろいし蔵王高原マラソン大会」を開催しました。全国屈指のアップダウンを誇る「激坂」に、全国から集まったランナー1,061人が挑戦。今大会では、10km60歳以上男子で大会新記録が樹立され、本市からも多くの方が入賞するなど、輝かしい成績を残しました。



▲鎌を使って稲を刈り取る児童たち

稲刈りを通じて歴史を学ぶ
大鷹沢「孝子堂八枚田」で稲刈り

10月4日、奥州白石あだ討ち噺^{はなし}で有名な大鷹沢地区「八枚田」でもち米の稲刈りが行われました。この日は、地元の方々と大鷹沢小学校4年生6人が参加。収穫したもち米は紅白のお餅にして、地元の方々に振る舞われる予定です。八枚田の維持管理は、白石陽光園施設「八枚田」の皆さんにご協力をいただいています。



▲玉入れで60個全て入れた西益岡。7年ぶりの王座奪還！

応援を背に熱戦展開！
第95回白石市民体育大会

10月8日、白石川緑地公園陸上競技場で「第95回白石市民体育大会」が開催されました。この日は、17地区から約1,300人が参加し、綱引きや玉入れ、200歳リレーなど全ての種目で熱戦！ 地区の威信をかけた戦いは、西益岡が見事に総合優勝。どの地区も大きな声で声援を送るなど、地区民間の交流を深めていました。



▲農業の活性化イベントに取り組み高校生たちも参加

食欲の秋 新米の季節到来！
白石産ササニシキ新米試食会

10月4日、かつて食味日本一に輝いた白石産「ササニシキ」の復活を目指す「宮城白石産ササニシキ復活プロジェクト」が、小原温泉ホテルいづみやで新米試食会を開催しました。試食会には、12月におもしろい市場で「ササフェス」を開催する白石高等学校の生徒も参加し、ササニシキの香りと食感を堪能しました。

Shiroishi Market フレッシュマーケット

～まだ知らない地元農産物の魅力をお届けたい！～

担当者がオススメする地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします！
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～



▲旬の農産物を豊富に取りそろえて、皆さんをお待ちしています！

県外のお客さんも絶賛！ 「馬牛沼産直センター」

斎川地区の生産者で運営する直売所です。朝採りの旬の農産物や梅干しなどの農産加工品を、お手ごろ価格で販売しています。人気商品は斎川米の新米や干し柿、手作り切り餅です。
また、交通量の多い国道4号沿いに位置しており、来店しやすいことから、「おいしい農産物を購入したい」とリピーターになる市外のお客さんが増えています！
●営業日時 毎週火・木・土・日曜日 9:00～17:00
●場所 国道4号沿い馬牛沼付近 ☎25-0520

農林課 ☎22-1253